

さっそう まち の で たろう  
颯爽と街へ、バスに乗って出かけたバス太郎。  
なか じょうきゃく にん  
バスの中は乗客が2、3人。  
まど そと み しない だいじゅうたい  
なのに、窓の外を見ると市内はクルマで大渋滞。

いま ぎょうかい げんじつ  
「これが、今のバス業界の現実なのでバスか・・・」

たろう しんごう ま うんてんしゅ き  
バス太郎は信号待ちで運転手さんに聞いてみました。  
うんてんしゅ かん  
「運転手さん、いつもこんな感じなのでバスか？」

あさ ゆうがた  
「あー、そうだ。朝と夕方だけ、  
きやく ふ ひるま かん  
お客さんはすこーし増えるけど、昼間はこんな感じさ。  
の ひと すく ほんすう  
乗ってくれる人が少ないと、バスの本数も減るからな。  
よけい りよう あくじゅんかん  
余計に利用しにくくなるっていう悪循環だよ。  
ろせん はし つづ  
この路線も、いつまで走り続けるかね」

「そうなんです、  
おも たいへん  
これは思ったより大変でございバスね・・・」

